

くめじま

# 議会だより

2016.6.1

No.56



## 議会の傍聴へ行こう

次回定例会は  
6月27日(月)開会予定

傍聴は議会の活動や町制の動きを知るチャンスです。本会議では、町民生活に関わるさまざまな決まりごとや問題について、審議が行われています。また、一般質問では、町長の考えを聞くことができます。今、まちづくりがどのように行われているのか、町民、議会、役場（執行部）みんなで情報を共有し、協力してより良いまちづくりを進めていくためにも、ぜひ傍聴にお越しください。

仲里庁舎1階にて一般質問の様子をテレビモニターでご覧いただけます。

### 清水小学校の安全教室

日時：平成28年4月14日（木）

場所：清水小学校近くの横断歩道

### 久米島の人口・世帯数（2016年3月末現在）

男：4,297人 世帯数：3,954世帯  
女：3,824人  
計：8,121人

## 3月定例会

### 平成28年度一般会計予算 2～3

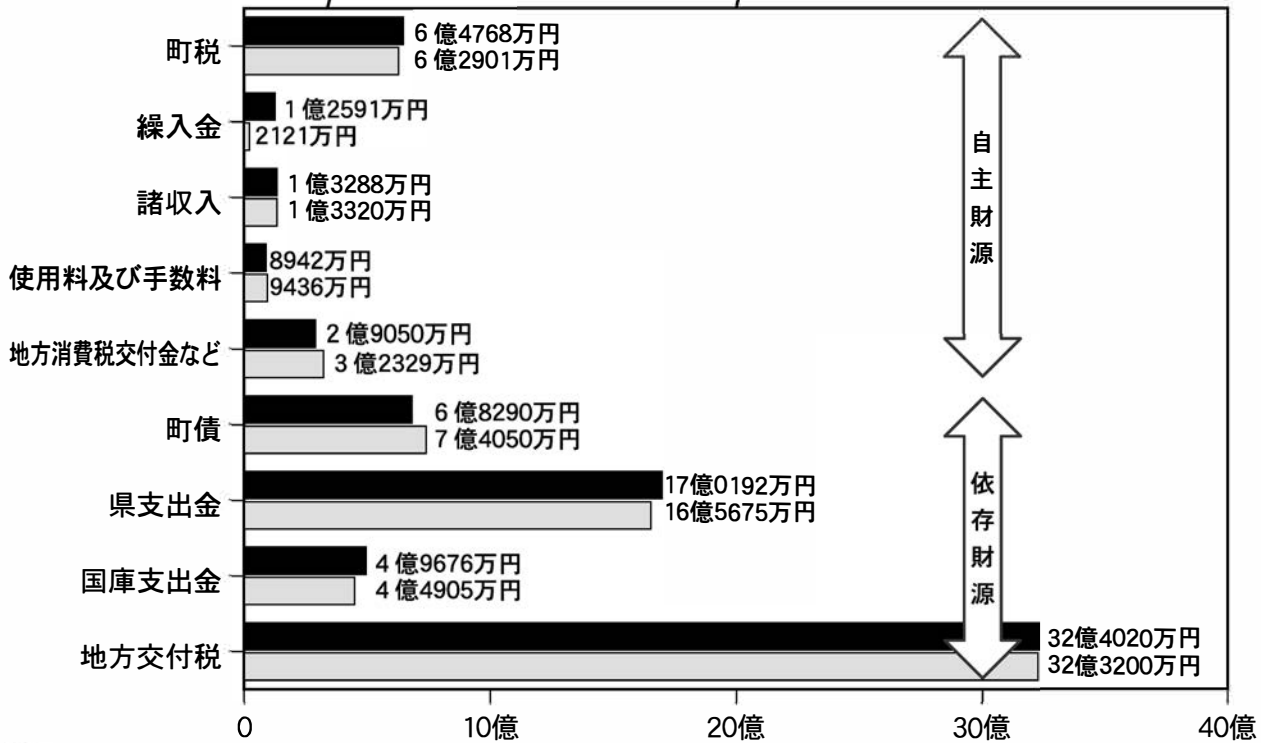
3月定例会で決まったこと	4
町政を問う 一般質問	5～15
議会のうごき	16
第1回臨時会で決まったこと	16

一般会計当初予算

# 74億820万円を可決

● 一般会計

■ 平成28年度 □ 平成27年度 歳入・当初予算年度比較（千円以下切り捨て）



28年度収入の特徴

収入総額に占める地方交付税の割合が43.7%を占めており、また、国や県から使い道を指定されて交付される国庫・県支出金の割合が30.0%となっています。国や県から配分、支出される財源に大きく依存していることがうかがえます。一方、町民の皆様になめていただく町税8.8%、財産収入や使用料、手数料などの諸収入が3.6%となっており自主財源が非常に乏しい状況となっています。今後は町税の徴収率向上など自主財源を確保するための取り組みが重要になります。

- Q 早産のため、2・3ヶ月前の島外渡航に対する助成の増額を検討できないか。
- A 安価で宿泊できる施設の建設を県に要望しました。追加支援については、検討してみます。
- Q 離島支援事業、廃棄自動車配送料は、二輪車も含むのか。
- A 二輪車は、含まず、軽自動車、軽トラック、普通乗用車を対象にしています。
- Q 現代版組踊に650万円計上しているが、将来を見据え、島内在住の指導者を育成するべきではないか。
- A 今後、島内で活動している若者から指導者を育成していきたい。
- Q 本年度、小学校の教員の本務・臨任の構成比率はどうなっているか。
- A 今年に比較し10名程度、増える情報を得ています。
- Q 指定文化財清掃委託料に「美ら福木」の剪定管理も含まれているのか。
- A 「美ら福木」の樹勢が弱いことから木を養生し、状態を観察しながら対応していきます

■ 特別会計

国民健康保険特別会計

- Q 国保税の徴収率は、何パーセントか、県内で何番目に位置しているか。徴収率を上げる対策は、
- A 平成26年度の徴収率が74.09%で、県内ランキングについては、県で出していないため、把握していません。又、滞納対策については、督促状、次に催告状、その後、調査し、差押えとなります。

後期高齢者医療特別会計

- Q 後期高齢者医療広域連合納付金が、前年比471千円減額されその要因は、
- A 後期高齢者医療広域連合前年度の請求によるものです。

水道事業特別会計

- Q 山城浄水場・具志川浄水場の基本計画はどうなっているか。
- A 今年度、基本計画を策定しました。新年度は、監視装置の一部を更新、実地計画に向け、データを収集します。

下水道事業特別会計

- Q 嘉儀山校区の下水道整備は28年度、実施計画だが、少しでも早めに竣工できないか。
- A 県・町の予算配分があり28年度で一気に完成することは厳しいものがあります。

平成28年度  
予算総額  
95億3,553万円

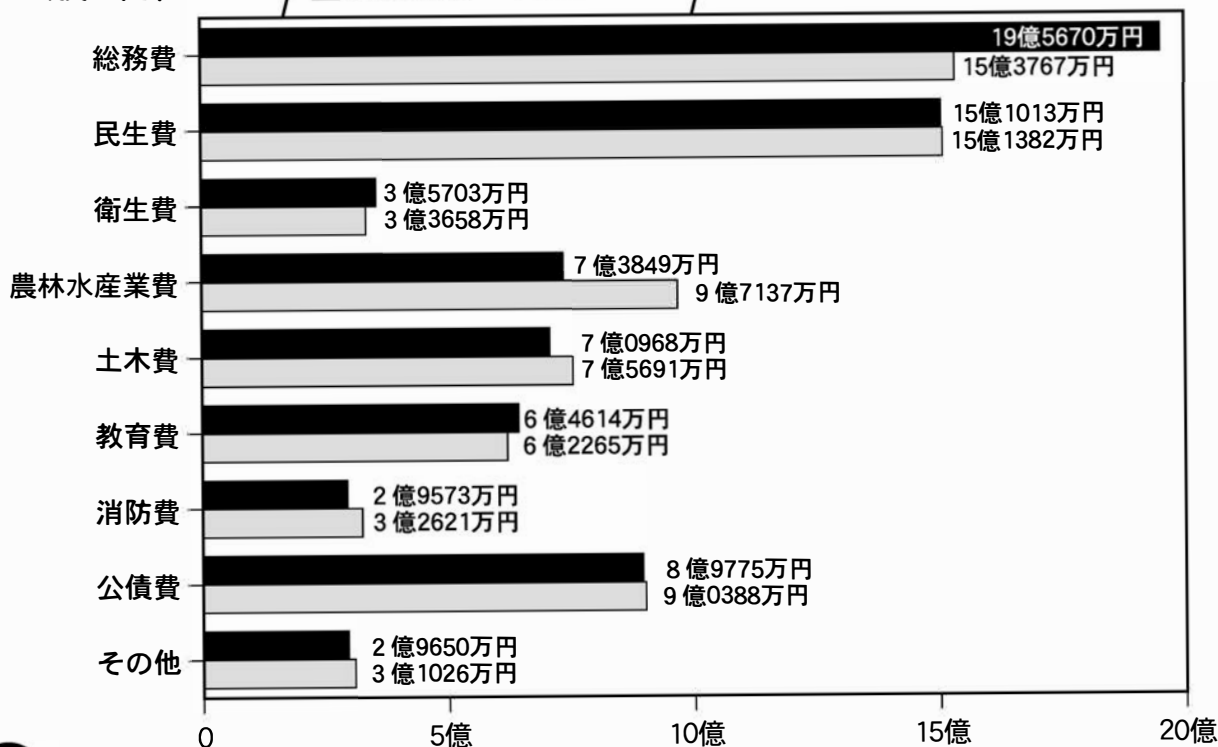
一般会計	74億820万円	1.8%増加
国民健康保険特別会計	14億7,093万円	1.8%増加
後期高齢者医療特別会計	7,153万円	-0.6%減少
下水道事業特別会計	2億8,382万円	-16.0%減少
水道事業会計	3億104万円	-4.5%減少
合計	95億3,553万円	0.9%増加



● 一般会計

■ 平成28年度 □ 平成27年度

歳出・目的別年度比較（千円以下切り捨て）



28年度支出の特徴

今年の歳出の内訳を見ると、行政の運営経費や沖縄振興特別推進交付金事業を計上している（総務費）が26.4%と割合が高く、次に、福祉の充実に係る経費（民生費）が20.4%と続いています。次に借金の返済である公債費が12.1%、農林水産費が10.0%となっており、去年同様、上位4項目で全体の約68.9%を占めています。

予算審査報告

予算審査は、議長を除く13人の委員で構成された特別委員会を設置し、3月10日・11日の2日間にわたって審議しました。  
審議の中から、主な質疑内容を報告します。

■ 一般会計

- Q 軽自動車税が大きく伸びているが27年で登録台数が増えたのか。  
A 登録台数が増えたのではなく、税制度改正に伴い増額です。
- Q FM放送広告料に480万円計上している。高く感じるが、その内容はどうなっているのか。  
A 町の番組放送枠に対する広告料の予算計上です。他FM放送局の状況も調査します。
- Q 国勢調査で人口減が明らかになったが、地方交付税の算定はどうなるのか。  
A 平成28年度から適用されるが、まだ試算していません。
- Q 地域おこし協力隊に対する予算が地方交付税に算定されていると説明があったが、今後も継続されるのか。  
A 基本的には3年ですが、再度、申請すれば更に継続できます。
- Q モズク加工場機能強化事業とは、どのような事業か。  
A 冷凍機能をマイナス20度からマイナス25度へ強化のための設備強化事業です。
- Q ハーベスター導入事業の補助対象は、既存の法人か、それとも新規の法人か。事業の周知範囲はどうなっているか。  
A 補助対象は、既存の法人ですが、事業は初めてです。又、周知については、農業関係者に周知をしています。
- Q ハブ買上事業に260万円余り計上されているが、一匹いくらかで想定し、何匹を買上予定しての計上か。  
A 一匹2千円で1250匹を予定しています。



# 3月定例会 決まったこと

## 平成27年度補正予算 ※全員賛成

- 一般会計補正予算（第5号）  
80億8534万円（5792万円増）
- 一般会計補正予算（第6号）  
84億8697万円（4億0163万円増）
- 国民健康保険特別会計補正予算（第3号）  
15億6468万円（1900万円増）
- 後期高齢者特別会計補正予算（第2号）  
7340万円（62万円増）
- 下水道事業特別会計補正予算（第3号）  
3億5306万円（増減なし）
- 一般会計補正予算（第7号）  
84億8697万円（既定の繰越明許費の変更及び追加）

## 平成28年度予算 ※全員賛成

- 一般会計予算
- 国民健康保険特別会計予算
- 後期高齢者医療特別会計予算
- 水道事業会計予算
- 下水道事業特別会計予算  
（詳しくは2～3ページをご覧ください）

## 条例の改正

- 町地域支援交流学習センターの設置及び管理に関する条例 ※全員賛成
- 町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 ※全員賛成
- 町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例 ※全員賛成
- 美ら海環境基金条例 ※全員賛成

平成28年3月（第2回）定例会は、3月8日から29日までの22日間の日程で行われました。定例会では、28年度の予算をはじめ議案25件、報告1件、承認1件、発議3件、決議1件を審議し、すべて原案どおり可決されました。9日（水）の一般質問では11人が登壇し活発な審議が行われました。

- 風の帰る森プロジェクト応援基金条例 ※全員賛成
- 町行政不服審査会設置条例 ※多数挙手
- 行政不服審査法の施行に伴う関係条例等の一部を改正する条例 ※全員賛成
- 町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 ※全員賛成
- 町火災予防条例の一部を改正する条例 ※全員賛成
- と畜場条例の一部を改正する条例 ※多数挙手

## 一般審議

- 沖縄県介護保険広域連合を組織する地方公共団体の増加及び規約の変更 ※全員賛成
- 町過疎地域自立促進計画 ※多数挙手
- 辺地に係る総合整備計画の一部変更 ※全員賛成

## 契約 ※全員賛成

- 動産の買入  
契約の方法 指名競争入札  
契約金額 7538万円  
契約の相手方 (株)光エンジニア

## 委員任命 ※全員賛成

- 人権擁護委員の任命  
川上 博久（字比嘉）

## 報告

- 専決処分報告  
久米島町地域支援交流学習センター改修工事請負契約の一部変更

## 議員提出 ※全員賛成

- 日米地位協定の見直しに関する意見書
- 沖縄県の道路網の整備促進に関する意見書
- 米軍人による女性暴行事件に関する意見書
- 米軍人による女性暴行事件に関する抗議決議

## 賛否が分かれた議案審議結果

賛成○ 反対×

件名	採決結果	喜久村等	盛本實	平良弘光	崎村正明	吉永浩	赤嶺秀徳	仲村昌慧	喜久里猛	棚原哲也	玉城安雄	安村達明	翁長学	饒平名智弘
町行政不服審査会設置条例について	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町と畜場条例の一部を改正する条例について	可決	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町過疎地域自立促進計画書策定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



吉永 浩 議員

## 問 若者の創業支援の拡充を

### 答 町独自の基準で事業の検討

**吉永** アイディアとやる気あふれる若者が活躍できる魅力ある島づくりに、創業支援の拡充が必要と考えるが町長の見解は。

**町長** 今年度も実施に向けて、財源調整中である。国の指針に基づき認定を行うため、地方独自の基準が取りいれられるか調整していく必要がある。

**吉永** 国の基準は、地方の現状に合わない。地方創生には地方独自の基準が必要である。島の若い芽を育てるために対象基準の緩和を含めた創業支援の拡充を強く要望する。

## 問 シルバー人材センターを

### 答 予算措置含めた準備を行う

**吉永** 退職後も生きがいをもつて自主的に自らの知識と経験を活かし、社会貢献を行うシルバー人材センターの立ち上げが必要と考えるが町長の見解は。

**町長** 介護予防、健康の維持の視点からもセンターは必要と考える。

**吉永** 県内市町村の取り組み状況など把握しているか。

**町長** 県内では17市町村がセンターを設置している。

**吉永** 社会貢献を通じた生きがいづくり、ポフンティア育成、社会保障費の抑制等のために、シルバー人材センターの29年度立ち上げを目指し、28年度中に予算含めた準備を行う考えはあるか町長の見解を伺う。

**町長** 予算措置含めた準備を行う。

## 問 島内全コンビニに救命機器の常備を

### 答 設置に向けて検討していく

**吉永** 町民や観光客などの安全、安心な生活を守る環境づくりとして24時間営業のコンビニに、AEDの設置が必要と考えるが、

**町長** 24時間営業のコンビニに設置することは、地域住民及び観光客の救命率の向上に繋がると考える。設置に向けて検討する。

## 問 町道のクリアは

答 優先度を確認し努力したい



平良弘光 議員

**平良** 町道を整備する場合にクリアしなければならぬ基準があるか。

**町長** 新規路線要望の理由、公共性が高い、用地取得等、費用対効果が出ない場合は、採択は厳しい。

**平良** 町民一人ひとりが安心、安全に暮らせる条件づくりこそが最大の費用対効果だと思つが。

**町長** 今後、優先度を確認しながら、その対処する相手方、県の方にもそれぞれの分野で調整、私みずから行くべきものについては行って、ヒアリングをして努力したい。

## 問 スポーツ施設の整備を

答 調整をしながら前向き進めていきたい

**平良** いま県内においてもプロ野球をはじめ、プロのサッカーチームを誘致するために、各地でプロ仕様のスポーツ施設がつけられてきています。これについて久米島町の計画は。

**町長** 30年度あたりを目処に新規事業として調整を進めている。

## 問 防風林の植栽は

答 29年度の事業導入に向けて検討する

**平良** 12月の定例会で質問した比屋定シンバルの防風林の植栽についての進行状況はどのようになっているか。

護保安林に指定されており、南部林業事務所で現地を確認、調査を行い、保安林植栽事業の導入を検討する。

**町長** 27年12月21日に南部農林事務所、調整を行ってきました。比屋定シンバルは、潮害防



赤嶺秀徳 議員

## 問 儀間・嘉手苅地内県道の改良は

### 答 早急に事業採択を要望する

**赤嶺** 県道83号久米糖入口交差点から嘉手苅の旧共同作業所あけぼの先交差点までの道路環境が非常に悪い。どのような対策を講ずるか。

**町長** 県道の整備について、県土木建築部から報告はないが、2月19、20日の両日、浦崎副知事の視察に同行し、未整備箇所については早急に県道整備事業採択を強く要請した。副知事からも持ち帰って協議するとのことであった。

**赤嶺** 道路整備に向けて県からの報告待ちではなく、攻めの道路行政が必要では。

**町長** 此までも何回も要請をしているが、町の思いが県に十分に伝っていない、副知事の久米島視察を機に積極的に発進して取組んで行く。

## 問 ダブルトラックの進捗状況は

### 答 可能性について調査中

**赤嶺** 27年12月定例会でダブルトラックについて質問したが、3ヶ月経た現在までの進捗状況を伺いたい。

**町長** 航空路線拡充に関する調査期間は3月25日までとし、調査内容は既存路線の拡充の可能性、ダブルトラックの可能性について行っている。又、期間内にあと一社の訪問を予定している。

**商工観光課長** 既存路線のJTA、RACの本社に県観光振興課の職員、調査委託会社と意見交換を行っている。搭乗率、観光振興、今後の対策、プロモーション、誘客について行っている。座席拡充はRACだけでは充分でなく、今後、JTAの余剰機材についても利用できないか協議している。ダブルトラッ

クの可能性については空港の利用者数の枠があり、どう対応するか可能性についての調査を進めている。



久米島空港

## 問 免許取得に支援を

### 答 前向きに検討したい



翁長 学 議員

**翁長** 道路交通法改正により、久米島での、大型、大型2種等の免許取得ができなくなった。個人と企業に支援できないか、運送、建設、旅客業の現状は、若いドライバーは、殆んどいなくて、高齢者が多く、人材の確保に苦慮している。

**総務課長** 厚労省が推進している。教育訓練給付制度があり、仲里自動車学校、他の自動車学校において、制度の利用は可能と聞いている。

**翁長** 企業支援はできないか。

**総務課長** 現在町内の免許取得のみならず、高齢者の運転講習の実施場所で、重要な施設であり、公共性の高い所として認識している関係機関と十分協議検討する必要がある。

**町長** 町が施設整備して指定管理で運営させる方法で、前向きに検討したい。

## 問 公園整備を

### 答 地域と協議する

**翁長** 遊具のある公園整備という事で、子育て真っ最中のお母さん達からの意見がある。仲里地域は、銭田公園が風のかえる森プロジェクトでなくなってしまうが。

**環境保全課長** 28年度一括交付金を充当して、ふれあい公園を整備する計画で旧久米島中学校運動場跡地に防衛省の予算でパークゴルフ場と連携した公園整備も予定している。

**翁長** 仲里改善センター跡地に比嘉公民館建設が計画されているがその一部に、安全に遊べる公園を。

**町長** 改善センター跡地は白紙であり、地域と協議しながら、方向を決めたい。







仲村昌慧 議員

その後の新しい情報はないとの回答を得ている。私は、今回のC.V-22オスプレイの訓練等により基地負担を増大させないことを要請した。基地問題について基本的に返還を求める考えである。

## 問 オスプレイ訓練計画の情報は

### 答 新たな情報はない

**仲村** オスプレイの訓練計画については、昨年の11月4日の臨時会において、C.V-22オスプレイの沖縄県内訓練場使用に断固反対する意見書を全会一致で可決したところであるが、その後のオスプレイ訓練計画の情報と町長の見解を伺う。

**町長** 昨年10月27日沖縄防衛局よりC.V-22の横田飛行場への配備計画についての説明があった。C.V-22が2017年より横田飛行場に配備されること、配備に伴い訓練等で県内の基地や訓練場所を使用する計画があると伝えられたが、訓練の時期や内容及び具体的な場所等については明らかにされていない。

## 問 屠畜場の改築は

### 答 早期に結論を出したい

**仲村** 老朽化している屠畜場の改築を検討してきたと思うが、これまでの取り組みの経緯と改築の見通しについて伺う。

**町長** 現在の屠畜場は昭和54年に建築されたもので36年が経過し、老朽化が激しく建て替え改修の両面から検討を進めている。

これまでの経緯として27年3月に建設検討委員会を設置して検討を進めてきた。今後の見通しとして財源の問題、場所の問題などクリアしなければならぬ課題があるが、早期に結論を出せるよう審議を進める。

## 問 のんびりウォークの総括は

### 答 結果を踏まえて審議

**仲村** 今大会ののんびりウォークは、開催日を1月の第3土・日から第4土・日に変更して開催した。時期を変更したことで島外からの参加が減少しないか心配されたが、今大会を終えての総括を伺う。

**町長** 他県の大会と重複し、結

果として島外参加者が前年より76名の減少となった。今大会参加者からは他の大会と重複のない第3週の土・日に開催してほしいとの要望が多くあった。次回大会の開催日については今大会の結果を踏まえて実行委員会において審議したい。

## 問 新たな産業の創出を

答 経済・雇用の拡大を目指す



盛本 實 議員

**盛本** 海洋深層水の複合利用「久米島モデル」プロジェクトの実現により、年間約60億円の経済効果及び雇用者約1、000名を可能にするための任意組織「国際海洋資源・エネルギー利活用コンソーシアム」の立ち上げとその活用方法は。

**町長** コンソーシアム（産業官連携組織）の組織強化と法人化の実現により、国・県などへの公式要請や予算要求及び受託事業等を行い組織の安定化及び持続化を図り「久米島モデル」実現に取り組む。

## 問 観光産業の振興は

答 インフラ整備により観光客の増大を

**盛本** 県内外からのチャーター便やクルーズ客船の誘致計画は。

**町長** チャーター便は、久米島空港の給油体制を整え、ツアー商品造成も他離島との連携を図りながら誘致に取り組む。また、クルーズ船に関しては接岸条件を整えながら誘致に取り組んでいく。

**盛本** 着地型観光商品開発の充実を図ることにより団体旅行や修学旅行の誘致が図られると思うがその方策は。

**町長** 「島の学校」体験プログラム

**盛本** 人口減少対策は、どの様に対策を講じているのか。

**町長** I・Uターン対策は中・長期的な計画を策定し事業予算化も図りながら取り組む。海洋深層水など島の資源を活用した事業を行う企業の誘致、支援を行い雇用増と定住促進に繋げる。

**盛本** 各種イベントやスポーツキャンプ等の誘致及び意義の明確化や経済効果を算出し公表すべきではないか。

**町長** 各種イベントやスポーツキャンプが島の経済へ及ぼす影響があるのかを町民に認識させる為にも、今後は経済効果を算出して公表したい。

↑あと6行入りません。

## 問 人口減少対策は

答 I・Uターン政策と企業誘致を

**町長** I・Uターン対策は中・長期的な計画を策定し事業予算化も図りながら取り組む。海洋深層水など島の資源を活用した事業を行う企業の誘致、支援を行い雇用増と定住促進に繋げる。



玉城安雄 議員

## 問 公立図書館の建設を

答 調査費を計上している

**玉城** 町長の施政方針で図書館機能を備えた生涯学習施設の建設に取り組みとしているが、建設検討委員会は設置したのか。

**町長** 生涯学習機能施設建設推進委員会を設置し調査検討し、その後建設検討委員会を設置する。3月中旬に1回目の会議を開催する予定である。

**玉城** 建設に向けての今後のスケジュールは。

**建設課** 28年度予算において調査費等を計上し、情報収集を行い、建設用地、活用予算の確定後、5年を目途に取り組み。

## 問 児童公園の整備を

答 地域と協議する

**玉城** 28年予算で、ふれあい公園の整備、多目的公園の整備が計画されているが、仲里改善センターの跡地利用は。

**町長** 一角に比嘉公民館を建設するが、公民館は地域住民の災害時の集合場所であるので、別の公共施設を建設することは现阶段では予定していない。

**玉城** 子育て中の親から安心し

**玉城** 官、民が連携して利用できる久米島町独立の出先機関を本島内に設置する考えはないか。  
**町長** 国、県に職員を派遣し、派遣先との連絡調整役も担って

て子供を遊ばせる場がないとの意見が多数ある。大人と子供が活用できる公園整備の考えはないか。

**町長** 具体的な整備計画は現在ないが、町民が自由に利用できる公共用地として活用することを念頭に置き、地域住民と協議しながら方向を決めたい。

いるので、行政を限定した場合には必要性を感じていないが、商観光、その他の機関と連携する総合的な調整機関は検討したい。  
**玉城** 行政的にも、幹部職員を派遣しそこを拠点

## 問 町の出先機関の設置を

答 総合的な調整機関は検討する

派遣しそこを拠点とした情報網づくりも大事だと考えるが。

**町長** 職員の派遣が可能かも含め前向きに検討したい。

## 問 道路整備を

答 整備に向け強く要請



安村達明 議員

**安村** 謝名堂、泊、宇根の道路整備を強く要望してきたが、整備に至っていない。土地活用にも大変苦慮している。

**町長** 歩道の幅が狭くゆとりが無いことを説明し、整備事業を説明し、整備事業採択に向けて強く訴えた。浦崎副知事から「土木建築部と早急に協議したい」旨の報告があった。

**建設課長** 副知事と土木建築部の調査で、採択に向けて再調査する。なぜ概略的設計で終わったか、原因の追及をし、事業化すると説明があった。

## 問

比嘉2号線整備を

## 答

新規採択に向け調整中

## 問

前村基金の活用は

答 医療系も審査対象に

**安村** 前村基金は、学生の補助金制度に活用され、大変感謝されている。医療系（レントゲン、薬剤師）にも活用すれば立派な人材育成だと思つが。

**町長** 前村基金は医療系についても申請書を提出すれば、審査委員会でも内容を審査し、決定し

たいと考えている。  
**教育長** 偏差値50以上の大学、医療系大学、医療系専門学校に進学した者に対して規定を新しく確認の上、決定し、今回から周知の中に入れる予定。

**安村** 久米アイランドから真我里までの道路整備について路肩がなく、道路が波打ち現象を起こしているが。

**町長** 28年度、新規採択に向けて土木建築部とヒアリング中である。

**建設課長** 事業採択に向けては4月の認可通知がゼロ通知でない限り大丈夫だと。

**安村** マンドウ原、クシ原の整備と舗装について。

**町長** 農業基盤整備事業で29年度より30年度事業採択に向け協議中。

**建設課長** クシ原は29年度予算に計上する。マンドウ原は、27名の地権者、経済効果の問題、効果を算定しながら資料集めをし事業化を進める。



饒平名智弘 議員

ました。27年度からスタートした子ども子育て支援新制度の実施や待機児童の解消、民営保育園の運営方針、施設の老朽化等の課題が見えてきており、これらの課題を精査し28年

## 問 公立保育園の存続を

### 答 方針を明確にしたい

**饒平名** 中央保育園は、これまでどおり町が運営した方が良いのではないかと。久米島では町と社協、民間が運営する保育園がある。しかし、多種多様なニーズがある中で保護者が安心して預けられる施設になっているのが中央保育園である。園児の成長のため保護者が安心して子育てができる環境を整えるためにも中央保育園は町営のまま存続する事が必要不可欠だと考えるが、また町営と民間が切磋琢磨し久米島の子育て環境が良くなれば人口増にも繋がるのではないかと、町長の考えを伺いたい。

**町長** 保育行政については、これまで2園を民営化し中央保育所もいずれは民営化の方針で

度には方針を明確にしたい。

## 問 国に航空運賃低減を

### 答 要請は継続していく

**饒平名** 久米島那覇間の航空運賃が高いのは、鳥島射撃場や久米島射撃場があるために遠回りし100kmの飛行距離が150kmになっているのが原因ではないかと、だとすれば国や防衛省に対し航空運賃の低減についてもっと強く保障や支援を求めらるべきだと思ふ。

**町長** 現在の基本飛行ルートの180kmに対し訓練区域が無かった場合は、162kmであるとJTAからの答弁があり航空運賃低減は直接結びつく要因となりにくい。

**饒平名** JTAが話している基本飛行ルートに対して町長も同じ認識を持っているのか伺う。

**町長** 飛行ルートは、1次答弁で述べたとおりであります。国に対して鳥島、久米島射撃場の返還を求めていく。

**饒平名** 那覇から渡名喜の上空やハテの浜の上を飛ぶと20分で久米島に着く時がある。それが飛行ルートではないかと思う。その事を防衛省や国に対して、我々は迷惑している事を伝えてほしい。



## 問 学校のトイレの改修を

答 改修する



喜久村 等 議員

**喜久村** 幼稚園、小学校のトイレの和式便器から洋式便器へ取り変える事はできないか。

**教育課長** 大岳小、球美中、西中3校は、1階2階の男女トイレに洋式便器が設置してあり、久米島小学校を除く清水、仲里、比屋定の3校については1階のみ、美崎小学校では2階のみとなっている。

**教育長** 全階にそれぞれの場所に最低1つは洋式便器を設置できるように取りくんできたい。  
**町長** 28年度で改善するよう指示をして、各学校に不自由のないように、今後は見直していく。

## 問 潮風害による塩害の対策は

答 林業事務所と調整する

**喜久村** 美崎地区の北真謝原とサア夕原一帯の潮風害等による塩害等を防止する計画はないか。

**環境保全課長** 一度事業を入れた所でも生育状況によつては、再度事業の導入もできる。

**喜久村** 防風林を育てるために、草刈り作業は導入できないか。

**環境保全課長** 造林した木を育成する事業もある。現場を確認して事業の導入を林業事務所へお願いする。



比屋定新原



棚原哲也 議員

## 問 交通の確保を

**答** RACの機材変更は困難、高速船は委員会の答申を受け方針決定

**棚原** 新機材が導入されたが座席拡充がわずか10席であり団体客対策として不十分と思うが。

**町長** 全て貨物拡張型に更新される予定で変更は困難。

**棚原** 決定前に強く要請する必要があるのでは。

**商工観光課長** 調整したが貨物拡張型に決定し途中変更は不可能で要請できなかった。

**棚原** 繁忙期に増便が団体客誘致に影響してくると思われるのでぜひ要望を、高速船はアンケート調査で賛成とどちらかというところと賛成併せて90%が賛成と示されています。結果を反映させる決定がされるべきと思うが。  
**町長** 時間をかけて決めたい。

## 問 安心できる子育て環境を

**答** 検討している

**棚原** 医療費助成金の自動償還払いの導入はしない方針とあるが。

**福祉課長** 現行でいきたい。

**棚原** 町民の要望か？他市町村の導入後の意見確認は。

**福祉課長** していません。

**棚原** 役場の考えではなく町民の声に答えられるサービスを、保育所の定員に空きがあるくらいは仕事を持つていなくても預けることが可能か。

**福祉課長** できません。

**棚原** 預かり保育は同年齢の子と過ごせるか。

**福祉課長** 違年齢の子と一緒に。

**棚原** 3歳から5歳の子は集団の中で過ごすことで友達をつくり、コミュニケーションの中で学び成長すると思うが仕事をしていない場合は預けることがで

きない、島では幼稚園に關しても3、4歳児受け入れは無く他市町村に似い幼稚園の2力年制等受け皿整備をする考えはないか。

**教育長** 検討していきたい。

**棚原** 公共施設のおむつ台やベビーチェア設置を。

**総務課長** 検討していきたい。

**棚原** 3保育所を利用できない幼稚園も行かせることができないと支援センターや預かり保育利用と思われるが現状課題があり何回相談に行っても十二分対応していないという意見があり。子どもは日々成長し待つてはくれませんが、子育てに關する課題については素早い対応・改善をやっていくのが行政の職員だと思つ。

議会のうごき

■平成28年2月 ■■■■■■■■■■

- 1日・楽天球団との会食議長出席
- 5日・仙台マイチーム協議会との懇親会に議長出席
- 6日・久米島袖フェアー及び祝賀会議長出席  
・若茶良講演会議長ほか出席
- 9日●第8回広報委員会
- 10日・介護保険広域連合議会全員協議会に議員出席  
・第2次総合計画策定説明会に議長ほか出席
- 12日●議員全員協議会
- 15日●議会運営委員会  
●第1回臨時会  
・沖縄県議会議員及び市町村議会議員交流会へ正副議長出席
- 16日・第45回沖縄県町村議会議長会定期総会へ正副議長出席
- 17日・本会第7回定期総会及び研修会に議長ほか議員出席
- 18日・町村議会議員・事務局職員研修会に議長ほか出席  
・後期高齢者医療広域連合議会定例会に議員出席
- 22日・介護保険広域連合議会定例会に議員出席

■平成28年3月 ■■■■■■■■■■

- 1日・久米島高校卒業式議長ほか出席  
・獣魂祭議長出席
- 3日●議会運営委員会  
●議員全員協議会
- 4日●第1回議案研究会
- 8日●3月定例会(議案審議)

- 9日●3月定例会(一般質問)
- 10日●予算特別委員会
- 11日●予算特別委員会
- 13日・町立中学校卒業式に議長ほか出席
- 18日・ヒューマンウェーブ地鎮祭に議長ほか出席
- 21日・若茶良那覇公演に議長ほか出席
- 23日・町立小学校卒業式に議長ほか出席
- 29日●議会運営委員会  
●3月定例会(閉会)  
・地域支援交流学習センターの視察に議長ほか出席
- 30日・離島医療組合議会に議員出席

■平成28年4月 ■■■■■■■■■■

- 4日・地域支援交流学習センター開所式に議長ほか出席
- 7日・JAおきなわ農産物出荷貯蔵施設落成式に議長出席  
・美ら海基金関係者懇親会に正副議長出席
- 8日・久米島製糖終了式及び懇親会に議長出席  
・小中学校入学式に議長ほか出席  
・美ら海基金贈呈式に正副議長出席
- 9日・にっぽん丸入港歓迎セレモニーに議長ほか出席
- 20日・第1回世界の久米島ソチ大会実行委員会に議長出席
- 24日・新任教職員歓迎会に議長ほか出席  
・久米島町老人クラブ連合会第15回定期総会に議長出席
- 25日●議員全員協議会
- 27日・南部町村長議会議長連絡協議会役員会、定例会、研修会に議長出席
- 28日・沖縄振興拡大会議に議長出席

第1回臨時会で決まったこと

会期：平成28年2月15日

27年度補正予算 ※全員賛成

- 一般会計補正予算(第4号)  
(債務負担行為の補正)  
事項 水産物供給基盤機能保全事業  
期間 平成28年度  
限度額 3000万円
- 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)  
15億4567万円(1359万円増)

契約 ※全員賛成

- 土地売買契約

- |        |              |
|--------|--------------|
| 契約の方法  | 随意契約         |
| 契約金額   | 1億3529万円     |
| 契約の相手方 | 沖縄県車海老漁業協同組合 |
- 儀間漁港第2防波堤整備工事(H27年度)請負契約  
契約の方法 指名競争入札  
契約金額 2億8458万円  
契約の相手方 (株)丸吉組
  - 久米島町かんしょ加工施設建設工事請負契約  
契約の方法 指名競争入札  
契約金額 7813万円  
契約の相手方 (株)久米建設

報告 ※全員賛成

- 専決処分の報告  
儀間漁港第2防波堤整備工事請負契約の一部変更
- 専決処分の報告  
平成27年度久米島縦断線工事請負契約の一部変更

編集後記

3月議会は、22日間で行った4回の定例議会では、長期の議会である。その中で予算審査は、議長を除く13人の委員で構成された特別委員会を設置し3月10日、3月11日の2日間にわたって平成28年度予算、一般会計と特別会計の予算審議をした。

特に、一般会計は、74億8千万円で可決された。前年度と比べて0.9%増である。現在、久米島町では人口減少、観光客の減少、農業関係の不作等、多くの問題が山積みしている。

今回は、沖縄振興特別推進交付金(一括交付金)でいろいろの事業が予定されている。交付金を適正に活用し町が活性化するように取り組んでいきたい。

広報委員  
仲村 昌慧(崎村)  
村 正明  
崎 長学  
翁 永浩  
吉 智弘  
饒平名